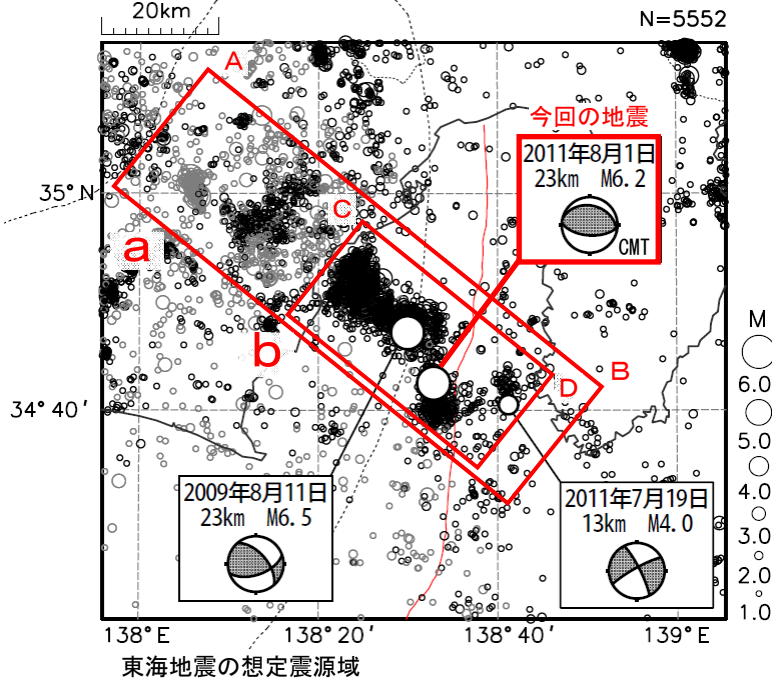


8月1日 駿河湾の地震

フィリピン海プレート内、東海地震想定震源域外、逆断層型、M6.2、最大震度5弱

震央分布図 (1997年10月1日~2011年8月2日、 $M \geq 1.0$ 、深さ0~50km)

深さ25km以浅の地震を濃く、それより深い地震を薄く表示。

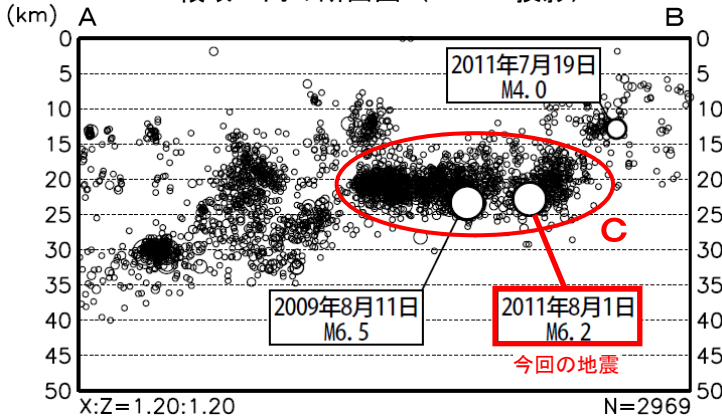


8月1日23時58分に駿河湾の深さ23kmでM6.2の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。震度1を観測した余震が4回発生したが、余震活動は徐々に収まりつつある。

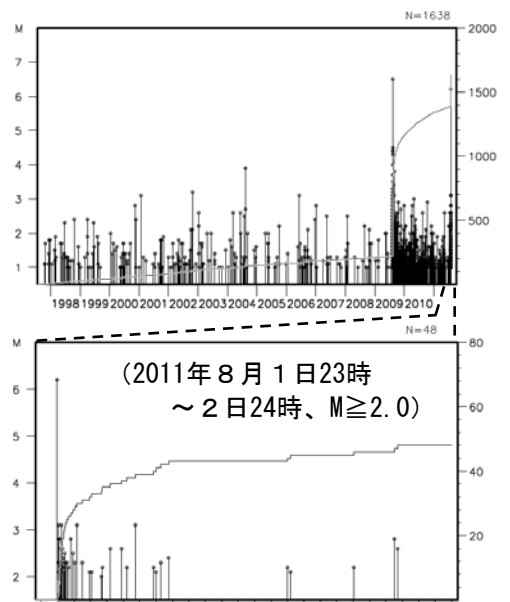
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2009年8月11日にM6.5の地震(最大震度6弱)が発生し、死者1人、負傷者319人等の被害が生じた。

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域d)では、M6.0以上の地震が時々発生している。

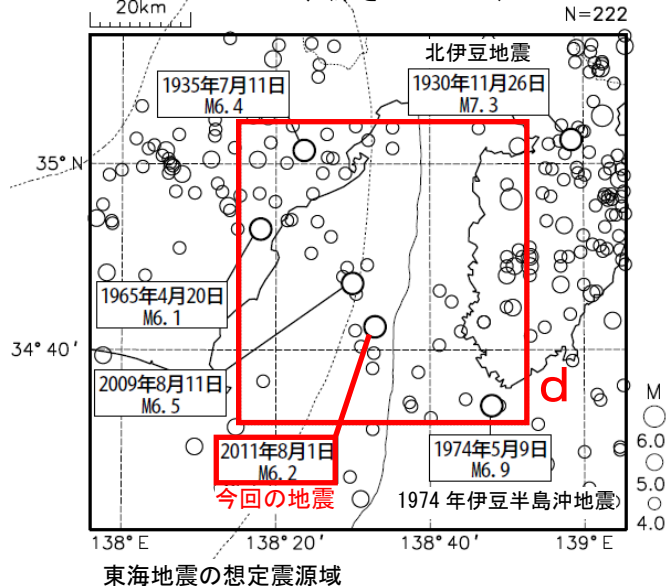
領域a内の断面図 (A-B投影)



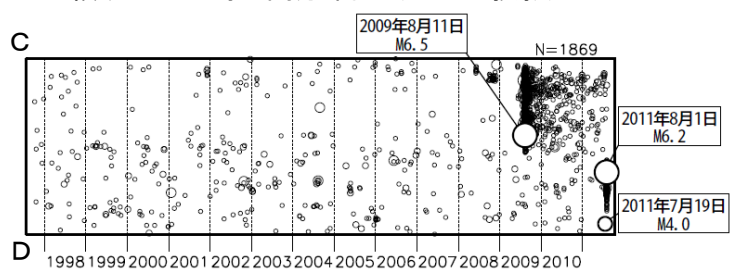
領域c内の地震活動経過図、回数積算図



震央分布図 (1923年8月1日~2011年8月2日、 $M \geq 4.0$ 、深さ0~50km)



領域b内の時空間分布図 (C-D投影)



領域d内の地震活動経過図

